



新潟市立潟東中学校 学校だより

令和5年10月10日(火) 第17号

希 望 橋

教育目標 豊かな心を持ち たくましく伸びる生徒

電話 0256-86-3007

1年:職場訪問, 3年:上級学校訪問

10月4日(水)

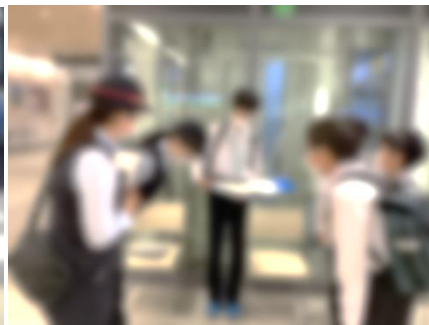
2年:職場体験学習

10月3日(火)・4日(水)

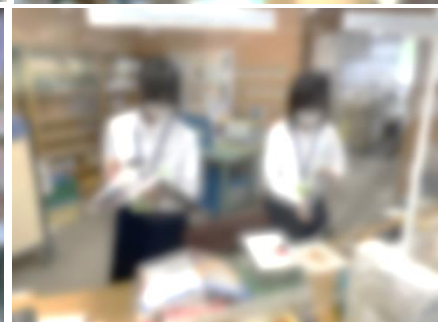
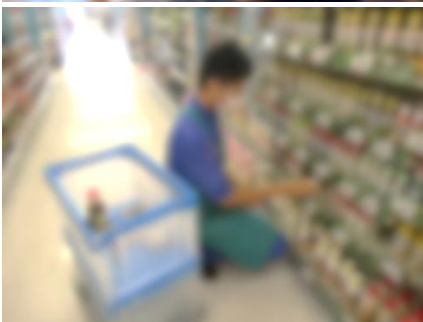
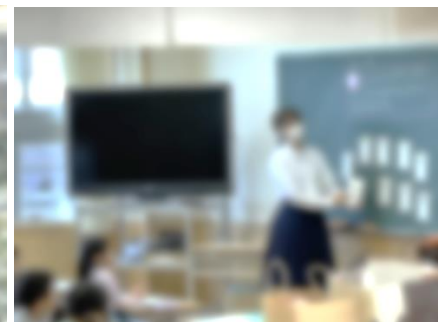
上記の日程で、秋の体験学習が行われました。どの学年も、事故や怪我がなく、充実した学習ができた様子です。ハプニングもあったようですが、臨機応変に対応できたと聞きました。しっかりと計画を立てても、想定外のハプニングが起こることがあります。そういう場面に会った時に、適切な判断と臨機応変の対応ができるかどうか、とても良い学びのチャンスだったと思います。

今回の活動の振り返りを行い、学んだことや考えたことをきちんとまとめ、今後の自己のキャリアアップに役立ててください。

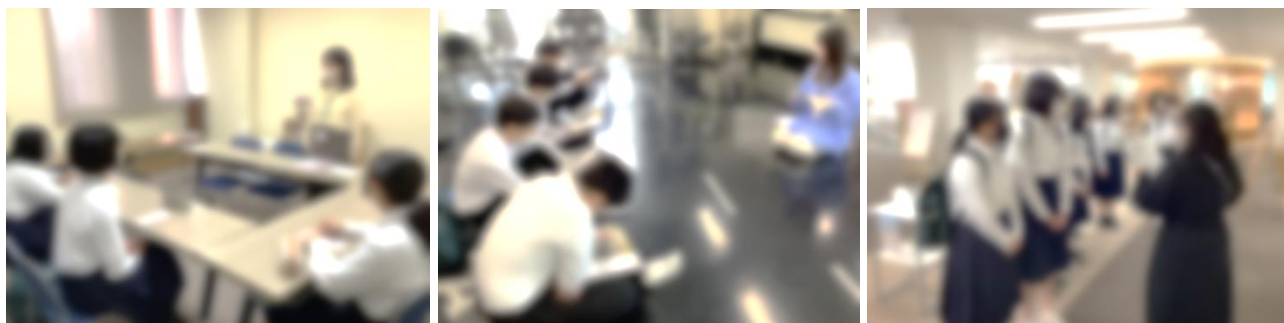
【1年生 職場訪問】



【2年生 職場体験学習】



【3年生 上級学校訪問】



『ルール』・『エチケット』・『マナー』を意識した生活を

後期始業式 校長講話より

後期が始まりました。これまでの成果と残された課題をしっかりと意識して、後期の学校生活に臨んでくれることを期待しています。

皆さんは『ルール』・『エチケット』・『マナー』という3つの言葉を聞いたことがあると思います。この3つの言葉は、どのような意味の違いや使い分けがあるのでしょうか？

『ルール』は、「交通ルール」のように『必ず守らなければならない規則』として定められているものです。日本は、法治国家ですから、様々な法律や条例、規則などの『ルール』が定められています。

一方で、『マナー』と『エチケット』は、意味が重なり合うところの多くあります。『エチケット』は、どちらかと言うと「相手や個人」を意識した場合に使われるのに対して、『マナー』は「社会や集団」を意識した場合に用いられる傾向があります。

ですから『エチケット』は、いま目の前にいる相手が不快な気分にならないようにする「気配り」の実践のことだと言えます。「咳エチケット」や「口臭エチケット」のように、主に衛生的なものにかかわる場合によく使われます。

これに対して『マナー』は、社会や集団が全体として気持ちよく過ごせるような行動の取り方と言えます。例えば「交通マナー」という言い方があります。これは「交通ルール」のように違反したら罰せられるものではありませんが、「交通マナー」を守ることによって、歩行者と車の両方が、安全に過ごすことができるようになります。「(スマートフォンや携帯電話の) マナーモード」なども、これと同じ類のものです。また「テーブルマナー」や「ビジネスマナー」のように、そうすることが望ましいとされている「作法」のようなものを言い表す場合もあります。

『マナー』を守る意識をもつことで、「信用を得ることができる」・「自身の評価を高められる」・「人間関係のトラブルが減る」・「パフォーマンスや能力の発揮につながる」・「周囲を察知する力を高められる」・「より快適な生活を送ることができる」など、たくさんのメリットがあります。

誰もがその日その日を快適に、心穏やかに過ごしたいと願うはずですが。そのような生活の質を左右するものの一つが『マナー』であり、考え方も価値観も異なる多様な人々が共同で社会生活を営む上で、一人一人の『マナー』は重要な役割を果たしているといえます。日々『マナー』を「意識」し、それを守ろうとする「行動」や「態度」は、皆さんの「習慣」やさらには「人格」を変え、ゆくゆくは「結果」や「運命」をも変えていく力を秘めている可能性があります。

これは、アメリカの心理学者、ウィリアムジェームズに由来するとされる言葉です。

- 「言葉(心)」が変われば、「意識」が変わる
- 「意識」が変われば、「行動」が変わる
- 「行動」が変われば、「習慣」が変わる
- 「習慣」が変われば、「結果」が変わる
- 「結果」が変われば、「未来」が変わる

この言葉には、いくつかのパターンがあり、少しずつ違いがありますが、多くのプロフェッショナルの人たちが「座右の銘」にしています。ぜひ、後期は『マナー』・『エチケット』・『ルール』を意識して、皆さんが快適で心穏やかに過ごせる毎日を送れるようにしていきましょう。